

1. 博多湾再生研究会

博多湾（特に東部海域）では、富栄養化の進行に伴う赤潮の発生やアオサの異常繁殖、さらに水質・底質の悪化による溶存酸素の減少が顕在化している。

このため、浅海域の浄化機能の回復、底生生物などの生物を用いた浄化、溶存酸素の改善などの研究・検討をもとに博多湾の再生を目指すものである。

1) 組織

(1)平成 14 年 9 月 9 日設置

(2)会長 山崎惟義（福岡大学工学部教授）

(3)会員 産官学 30 数名

2) 定例会および現地視察

(1)定例会

4 月 20 日：アマモ栄養株移植 8 名

5 月 28 日：「アサリの放流試験」保健環境研究所主任
研究員 坂口 寛 18 名

8 月 26 日：「海藻を利用した排水重金属処理」佐賀大
学教授 井上 勝利 15 名

9～11 月：「博多湾フォーラム」開催のための実行委員
会（4 回実施） 15 名

11 月 20 日：「博多湾フォーラム」開催（あじびホール
にて） 129 名

12 月 14 日：アマモ播種 8 名

12 月 17 日：「アオサの回収の実態」博多湾環境整備株
川口繁保室長 15 名

2 月 25 日：「干潟に形成された藻場の生態系機能」国
立環境研究所 矢部徹
及び「浮遊アオサの重金属吸収特性」
千葉大学 石井祐一 25 名

(2)現地視察

6 月 25 日：視察ツアー（海水淡水化施設及び下水道局
東部水処理センター） 24 名

3) 活動成果

(1)定例会などで得られた情報は、随時保健環境研究所の
ホームページに掲載し、一般市民へ公開した。

(2)当研究所周辺の地行浜など 3 カ所においてアマモ播
種移植したところ、生育と増殖が確認された。この成果
を踏まえ、次年度から和白干潟において市民参加による
移植・播種試験を行い、生物多様性の向上やアオサ繁茂
の抑制を図っていく。

2. 廃棄物のエコ処理研究プロジェクト

廃棄物のエコ処理研究プロジェクトは、地球環境を守
り、持続的発展が可能な社会を形成するため、環境負荷
への低減が可能な廃棄物の処理方法を開発することを目
的として設置された。

平成 16 年度のプロジェクト内容は環境局内職員も含
めた勉強会及び報告会、ごみ処理施設などの視察、調査
研究等を行った。

1) 勉強会

① 「段ボールコンポスト用適正基材開発品評会」

開催日：平成 16 年 4 月 3 日

主 催：循環生活研究所

場 所：福岡市あいれふホール

参加者：久保倉

② 「生ごみ堆肥化自然循環型社会システムデザイン研
究会」

開催日：平成 16 年 8 月 19 日

主 催：九州大学芸術工学研究院循環経済研究室

場 所：春日市

参加者：久保倉、草野

2) 視察

① 横浜市剪定枝葉堆肥化施設視察

視察日：平成 16 年 5 月 4 日

参加者：久保倉

② 福岡市民間剪定枝葉堆肥化施設視察

視察日：平成 16 年 6 月 18 日

参加者：久保倉、草野

③ 大木町生ごみバイオガス回収実証施設視察

視察日：平成 16 年 10 月 22 日

参加者：植木、宮原、龍、松尾、野口
吉武、久保倉、草野

④ 産業総合研究所食品ごみ水素・メタン二段発酵
実証プラント視察

視察日：平成 17 年 1 月 24 日

参加者：草野

3) 調査研究及び共同研究活動

① 食生活の違いによる段ボールコンポスト堆肥化物
の成分および農薬含有量の再調査

② 剪定枝などを基材として用いた段ボールコンポ
スト堆肥化物成分調査

4) 報告会及び説明会

① 保健環境研究委員会廃棄物部会報告

開催日：平成 16 年 5 月 10 日

② 平成 16 年度保健環境研究委員会報告

開催日：平成 17 年 1 月 18 日